

本学志願者 大幅増



2016
2.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



1月31日に実施されたA日程入学試験(本学第3会場で)

センター利用、A日程入試 ともに2万5千人超す

平成28年度 入学試験学科別志願者数

学部	学科	センター前期	A日程
工学部※	機械工学科	2,316	2,461
	機械電子創成工学科	1,531	1,707
	先端材料工学科	1,353	1,483
	電気電子工学科	1,870	2,003
	情報通信システム工学科	1,474	1,611
	応用化学科	1,314	1,375
創造工学部※	建築学科	1,763	1,848
	都市環境工学科	1,432	1,534
	デザイン科学科	1,435	1,631
先進工学部※	未来ロボティクス学科	1,817	1,896
	生命科学科	1,272	1,332
情報科学部	知能メディア工学科	1,376	1,492
	情報工学科	1,906	2,074
社会システム科学部	情報ネットワーク学科	1,640	1,739
	経営情報科学科	961	1,040
	プロジェクトマネジメント学科	898	976
	金融・経営リスク科学科	828	918
全志願者数		25,186	27,120

※は平成28年4月開設

工学部改編が効果

前年度 志願者数

学部	学科	センター前期	A日程
工学部	機械サイエンス学科	2,389	2,274
	電気電子情報工学科	2,334	2,202
	生命環境科学科	1,524	1,386
	建築都市環境学科	1,962	1,701
	デザイン科学科	1,519	1,389
	未来ロボティクス学科	1,847	1,764
情報科学部	情報工学科	2,029	1,858
	情報ネットワーク学科	1,661	1,565
社会システム科学部	経営情報科学科	884	847
	プロジェクトマネジメント学科	743	733
	金融・経営リスク科学科	659	683
全志願者数		17,551	16,402

これらが、受験生や保護者が本学に抱くブランドイメージを向上させ、志願者増につながったとみられている。

1月16、17日(土、日)の大学入試センター試験を皮切りに、いよいよ入試シーズンが始まった。本学でも、センター試験を利用して入学志願者の合否を決める大学入試センター利用入試を実施。今年度は受験生1

16日はリスニング機器の不具合の申し出があり再開テストを実施、17日は順調に終了した。今年のセンター試験の志願者数は全国で約56万人。本学センター利用入試(前期)の志願者は2万5186人で、昨年を7635人上回り、センター利用入試では6年連続で過去最多を更新した。

続いてA日程入学試験が1月31日(日)から4日間、本学試験場と14の学外試験場(1月31日、

2月1日)で実施された。出願受け付け開始から間もなく、東京会場(東京スカイツリータワー)と次々に定員を満たし、最終的には7会場が定員を満たす結果となった。試験日は4日間とも好天に恵まれ、大きなトラブルもなく終了。今年度、A日程志願者数は2万7120人で、昨年を1万718人上回り、8年連続で増加した。

志願者増の最大要因は、工学部が「工学部」

「創造工学部」「先進工学部」の3学部体制に改編されたこと。時代のニーズに合わせ専門性を高めた学部学科構成に、大きな注目が集まった。

また昨年1年間、本学の取り組みがテレビ・新聞などに数多く取り上げられたことも寄与した。未来ロボット技術研究センター(fuRo)が開発した近未来型モビリティ「ILYA」

「創造工学部」の開発の流星観測衛星「S-CUBE」が宇宙航空研究開発機構(JAXA)の無人補給機で国際宇宙ステーションに打ち上げられたことは、特に大きく取り上げられた。

ほかにも学生たちが活躍し、ロボカップ世界大会2015(中国)で完全優勝、世界戦で見事2連覇を成し遂げたこと、東京スカイツリータワーキャンパスで本学の研究成果を広く発信していること、新習志野キャンパスに新食堂棟・体育館・国際交流会館が建設中で、より豊かな大学生活に期待が寄せられていることなどが挙げられる。

ニュースガイド

- 2面 遠藤さんベスト学生賞 / 田中さん住宅が優秀賞 / 溝口さん優秀ポスター賞 / 清水さん優秀講演賞
- 3面 学生懸賞論文最優秀賞に滝口さん / 今村研が再現2模型 / サータックに本学展示
- 4面 二宮小でロボット授業 / 倫理教育講習会開く / 出版案内 / 新任紹介 / クラブ活動状況

平成27年度 学位記授与式



平成27年度の学位記授与式は、3月22日(火)午後2時から、幕張メッセ・イベントホールで挙行されます。入場受け付けは、学生・父母とも1時半から開始します。開式(2時)以降の入退場はできません。なお、学生は当日「学生証」を必ず持参してください。

国立釧路工業高専、都立産業技術高専と

人材育成へ連携協定結ぶ



本学は1月21日に国立高等専門学校釧路工業高等専門学校(岸徳光校長、生徒数約千人)と、同25日には東京都立産業技術高等専門学校(田原正夫校長、生徒数約1600人)と、教育・研究活動全般に係る「包括的な連携に関する協定」を締結した。

地域の工科系教育で連携し、次代を担い国際社会で活躍できる人材を育てるのが目的。

都立産業技術高専での締結式では、田原校長と小宮一仁学長(写真左)と小宮一仁学長(写真右)が協定書にサインし、握手を交わした。

遠藤さんベスト学生賞

生体材料シンポでポスター発表



大学院で生命環境科学を専攻する遠藤敬幸さん(修士1年、橋本和明・柴田裕史研究室)が19th Symposium on Ceramics in Medicine, Biology and Biomimetics (SOMBB and Biomimetics (SOMBB and Biomimetics) 第19回医学・生物学・生体模倣関連セラミックス材料シンポジウム)で昨年12月9~11日、東京都文京区の東京医科歯科大

M&Dタワーで、日本セラミックス協会生体関連材料部会など主催)で生体材料関連の研究をポスター発表し、Best Student SOMBB Awardを受賞した。

発表したのは「Characterization of structural stability of β -tricalcium phosphate doped with sodium ion by electrical analysis (電気的解析法によるナトリウムイオンを固溶した β 型リン酸三カルシウムの構造安定性評価)」。遠藤さんは生体機能材料化学を研究している。

な活性化エネルギーなどを算出する手法。これにより、添加したナトリウムイオンの量による β 型リン酸三カルシウムの電気伝導性や、キャリア種

の移動の変化を調べて発現した。ポスター会場では英語での質疑応答が難しく、自身の英語能力の低さを痛感したという。

遠藤さんは「あまり上手に発表できなかったのでも、まさか自分が」と驚きの方が大きく、あとから喜びがこみ上げてきました。感想を語った。

学習者が主体的に学習を深めることができる。学習状況の把握分析にも役立つ。ビデオ教材はモニターテレビやプロジェクターで表示でき、さまざまな教育へ利用を広がられる。

溝口さん優秀ポスター賞

電子透かしのビデオ教材 マレーシアで発表

情報ネットワーク学科の溝口紗耶さん(4年・中村直人研究室)が第6回理数科教育国際会議(昨年11月16~19日、マレーシア・ペナン島で開催)のデジタ



受賞した溝口さん

ル部門で「Development of Interactive Video Materials using an Electronic Watermark (電子透かしを用いた双方向ビデオ教材の開発)」を発表し、優秀ポスター賞を授与された。

溝口さんは中村教授の指導で、見た目から電子透かし(画像や音質に影響を与えず特定

「囲炉端」住宅 優秀賞

秋山さん・高橋さん・谷田部さん 住まいのコンペで

建築を志す学生たちを対象に長谷工コーポレーションが募集した第9回「住まいのデザインコンペティション」で、大学院建築都市環境学専攻の

秋山裕史さん、高橋沙織さん、谷田部貴久さん(いずれも修士1年・遠藤政樹研究室)の3人が共同で高齢者用集合住宅「囲炉端会議」を提案し、優秀賞(賞金50万円)を獲得した。表彰式は昨年12月19日、ホテルニューオータニ(東京都千代

田区紀尾井町)で行われた。課題は、都心の緩やかな勾配の敷地に30戸の高齢者用住宅を想定する「100歳の集合住宅」。

秋山さんたちは、いつの時代にも人々を温かく結び付けてきた囲炉裏端に着目。囲炉裏を介して新たなコミュニケーションやアクティビティが生まれる集合住宅を構想した。

住戸は四角錐の先端を切ったような姿で連なる。内の道をたどると部屋の囲炉裏が少しのぞける。ある戸の囲炉裏で時を共有し、別の囲炉裏へ

全国約100の作品が集まる中、アイデアをどう魅力的にアピールするか。高齢化社会に「建築的発想」でどう答えを出すか。3人が重ねた工夫は実に、最優秀賞3点のうち

審査員からは「煙突とも何ともいえない急勾配の屋根の形で形成される街並みが気に入った」と好評価が続いた。

受賞者たちは「名誉ある賞をいただき大変うれしく思っています。これに満足せず、今後も頑張っていきたい」と語った。



(左から) 谷田部さん、秋山さん、建築家の乾久美子さん、高橋さん。下は作品の説明図から



自分の時間が増えたお

生命環境科学専攻の大学院生・清水麻里さん(修士1年・五明美智男研究室)が、日本沿岸学会の研究討論会(2015年7月18~19日、茨城大水戸キャンパスで開催)で「千葉

の砂浜における海浜植物の生息場の特性分析」千葉県南房総市岩井海岸を例として発表し、優秀講演賞を受賞した。決定通知が遅れ、1月の公表となった。

よる海岸線の後退や人工整備の影響に外来種の繁殖も加わり、ヨシ原のほかマコモ、ハマヒルガオなど貴重な海浜植物の減少がみられる。生物の多様性を守るため市民団体が保護・再生活動をしているが、有効性に不明な点も多く、確かな評価方法が待たれている。

清水さんは南房総の岩井海岸をフィールドとして、海浜植物の生息場評価モデルを作ろうと、まず基礎情報を収集整理。海浜植生の被度・種数と砂浜の地盤高などの関係からSI(適性指

清水さん 優秀講演賞

海浜植物保護へ評価モデル作り



五明教授・社会環境研究室の学生は前年度研究討論会でも環境教育の工夫や離島ネットワーク研究で優秀講演賞を受賞。岩井海岸では今後

も、植物以外の漂着物による海岸評価、漂着海藻を用いた環境教育(海藻おしぼり)、海岸林の保全管理などの研究を進めるといふ。

今村研の学生たちと模型作品群。右端が今村教授



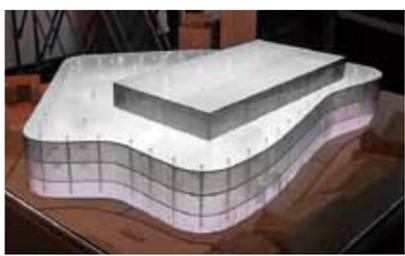
今村研が再現2模型

「フォスター10名建築展」に

東京・六本木の森美術館で年初から2月14日まで開催された「フォスター10パートナース展」に、建築都市環境学科・今村創平准教授の研究室の学生が制作した作品が展示され、注目を集めた。



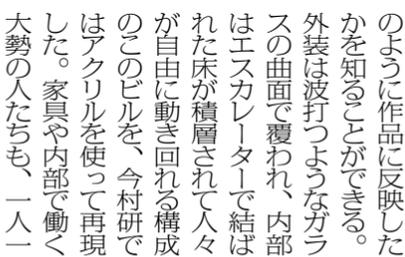
「フォスター10パートナース」はハイテク建築の分野で世界的な評価を受け、「モダンイズムのモーツァルト」と呼ばれるイギリスの建築家、ノーマン・フォスター（80）が率いる国際的建築設計組織「ガーキン」（ピクルスにみるキュウリ）の愛称でロンドン市民に親しまれている「スイス・



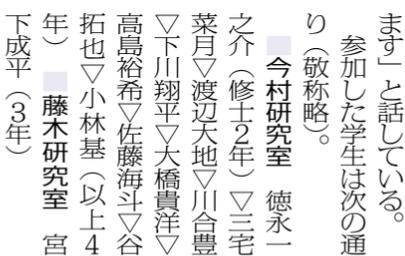
リ本社ビル」や、東西ドイツ統合の象徴「ドイツ連邦議会新議事堂・ライヒスターク」など、数多くの現代建築史上の名作を生み出している。「都市と建築のイノベーション」というタイト



六本木ヒルズ森タワー52階の展示会場入り口を入ってすぐの「特等席」に展示された今村研の作品は「オートノマス・ハウス」写真左の上と「ウィリス・フェーバー



「デュマス本社」以下の2枚の2つの模型。二重の網目状の球体が特徴のオートノマス・ハウスは住宅として設計されたもので、若き日のフォスターが強い影響を受けたアメリカの発明家で思想家のバックミンスター・フラーと共同で設計。「建築は軽やかさと自然の光の芸術である」というフォスターの哲学を具現化した原点とも言



「デュマス本社」は1970年代に建てられた保険会社の建物で、フォスターが初期にその哲学をどのように作品に反映したかを知ることができる。外装は波打つようなガラスの曲面で覆われ、内部はエスカレーターで結ばれた床が積層されて人々が自由に動き回れる構成のこのビルを、今村研ではアクリルを使って再現した。家具や内部で働く大勢の人たちも、一人一



人紙で手づくりしたという。制作は昨年7月から12月まで半年がかり。今村准教授は「フォスターの哲学を理解するところから、作品の意図を翻訳し、模型として制作工程を考え、チームとして完成させることができた。さらにそれを大勢の人に覚えてもらうという経験は学生にとっても刺激的で貴重だったと思います」と話している。

参加した学生は次の通り（敬称略）。

今村研究室 徳永一之介（修士2年）▽三宅菜月▽渡辺大地▽川合豊▽下川翔平▽大橋貴洋▽高島裕希▽佐藤海斗▽谷拓也▽小林基（以上4年）

藤本研究室 宮下成平（3年）

「千葉工業大学プラズマフォーラム」のブースを

行った。

プラズマ研究者らは4万8514人（主催者調べ）が来場した。

最優秀賞に滝口さん

優秀賞に金田君、昆君

27年度・学生懸賞論文 受賞作決まる

本学図書館（館長・赤羽弘和・建築都市環境学科教授）が昨年9月18日～11月14日に募集した平成27年度・第4回学生懸賞論文の受賞者が決まった。課題はA・自由課題、B・東京オリンピック・パラリンピックに向けて先端科学技術はどのように貢献できるか、C・図書館所蔵図書を読んだ感想文——の3つ。12点の応募があり、選考の結果、最優秀賞には課題C・滝口亜美さん（デザイン科学科3年）の「人間工学からの発想」が与えてきたもの、「人間工学からの発想」クオリティ・ライフの探究（小原二郎著）が選ばれた。



最優秀賞の滝口さん（左から2人目）。左は赤羽図書館長、右は小宮学長と屋代智之・情報ネットワーク学科教授

優秀賞には課題A・金田胤人君（プロジェクトマネジメント学科2年）の「真に自分であるために」と、課題C・昆弘都君（情報ネットワーク学科1年）の『嫌われる勇氣』（岸見一郎・古賀史健著）が選ばれた。3人にはそれぞれ希望の学習教材が贈られた。滝口さんが読んだ本は本学の元理事・小原氏の著作で、滝口さんは、人間を大切にすることがゆえに、ほとんどの使いにくさを残す、など人間工学の奥深さに触れた思いをつづった。2年生の授業のときのことで、さらに発見があると思ひ読み返したという。

「過去にデザインした」あの椅子は本当に快適なものなのか、など考えさせられました。もう一度身の周りのことに目を向けてよく考えてみることを伝えたくて書きました。文章を書くことは得意ではなかったのですが、少し自信が持てたような気がします。直して下さった上野（義雪）先生に感謝します」と語った。

金田君は自由課題に挑戦。私という人間を殺さずに素敵な人間関係を作るには、と考へ、「自分を受け入れる」ことで相手の心を温かな感情で満たしたい、という思いにたどり着くまでを描いた。

昆君は読んだ本の「すべて」の悩みは対人関係の悩み」の一文に衝撃を受けた。周りの見方に縛られていた自分に気づき、自身を見つめ直していく過程を書いた。

審査した委員たちは「受賞作はどれも主張が明確で、自分の言葉で丁寧に論じていた。受け売りではない、自分の考えがはっきりと出ていた」。惜しくも受賞からは外れたが、日本の残飯問題や教育問題について

論じたものもあり、全体水準は高かった。日頃から疑問に思うことや関心を持っていることについて、本を読んだり思索を深めたりすることが優れた論文作成につながるようだ」などと語った。

表面技術の最前線展示

サーテックで坂本研・プラズマ研究者たち

ものづくりの基盤・表面技術の最前線を紹介する総合展「SURTECH H（サーテック）2016 表面技術要素展」（表面技術協会など主催）が1月27～29日、東京・有明の東京ビックサイト東4ホールで開催された。本学は今度も表面技術協会の依頼で、表面工学研究グループとプラズマ分野の研究者らが、ビジネスマッチングを求める企業関係者に展示を行った。表面工学グループは機械サイエンス学科の坂本幸弘教授と研究室の大学院生ら・協力会社でVドライプロセスに関する特別展示▽炭素系材料の気相合成法の一つ・熱フィラメントCVD装置を展示▽大気圧プラズマによる表面改質と陽極酸化によるメンブレンフィルターの作製実演——などを行った。

二宮小でロボット授業

総合工学研と先川原fURO室長

本学サークル・総合工学研究会と先川原正浩・未来ロボット技術研究センター（fURO）室長による出張授業「ロボット操縦体験」&講演が2月8日、船橋市前原東の市立二宮小学校（吉野一宏校長、児童約570人）で開かれ、同小6年生約80人に、ロボットを



①二宮小学校で講演する先川原室長
②小栗原小学校で

通じて科学技術の面白さを伝えた。1月に同市立小栗原小学校で開いた授業に続くもの。

総合工学研の柴田拓歩部長（未来ロボティクス学科2年）ら5人が持ち込んだのは2足歩行ロボット。今月開かれるロボット格闘技大会「ROB O-ONE」に出場する



敏な動きや、倒れても起き上がる仕草に拍手が響いた。この後、先川原fURO室長が「最新ロボットのことがすごい」と題して講演した。

参加児童たちの感想は「ロボットの動きが滑らかで驚いた」「これを作るのがすごい！」「高齢化社会に役立つロボットを作りたい」と話す子ども。先川原室

長は「科学技術が楽しいものだと思いきっかけになれば……」と話していた。総合工学研はオープンキャンパスやロボット操縦体験教室（現代産業科学館）のほか、ロボット出前授業などで活躍の場を広げている。

倫理教育講習会開く



在学生を対象とした「倫理教育講習会」が、新習志野キャンパスで1月17日、津田沼キャンパスで21日に開かれ、延べ75人の学生たちが受講した。

II写真。学内の研究者倫理委員会が中心になって開いた。講師役は本学OBの堀田光氏（昭和53年土木学科卒・技術士）。最近社

出版



惑星探査の最前線を見る

1995年、太陽系の外に惑星（系外惑星）が発見されて以降、惑星学のフィールドは銀河系へとドラスティックに広がっている。惑星研究の第一人者である松井所長



松井孝典所長

が、太陽系惑星と系外惑星との違い、惑星系の生

まれば、系外惑星探査の最前線などを初心者に分かるように解説してくれる。科学の幅広い基礎知識をもとに、宇宙にある我々の存在を考えさせてくれると同時に、地球外生命の可能性に迫る過程はSF世界を現実の宇宙に見るような驚きと興奮を与えてくれる。

銀河系惑星学の挑戦

地球外生命の可能性をさぐる

著者||松井孝典・千葉工大惑星探査研究センター（PERC）所長
発行||NHK出版
価格||842円（税込み）

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名
総合工学研究会	12/1、6、1/31	船橋市立小栗原小学校、オープンキャンパスロボット操縦体験、第17回&18回KONDO BATTELE
動画制作部	12/20	アニメーション研究会連合
茶道部	12/13、20	雪待茶会、白門茶会
ギタークラブ	12/12	第50回定期演奏会
ソフトメディア研究会	12/12	DTM合同討論会
電気研究部	12/12	理工学教室
天文研究部	12/12	理工学教室、天体観測
写真部	12/12	天体観測
吹奏楽部	12/13、26	千葉県アンサンブルコンテスト、定期演奏会
フィッシャークラブ	12/24	部内トラフト大会
放送研究部	12/23	番組発表会
TRPG研究会	12/25	クリスマスイベント
書道倶楽部	12/31~1/3	札書書き
マンガ研究会	12/31	コミックマーケットC89

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的に行ういろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。学生たちのがんばりにご期待ください。

新任紹介



新任紹介
（敬称略）
杉野 日奈子
（総務部付 事務職員）

慣れないこともありですが毎日が新鮮です。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、しっかりと学びたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。趣味は映画観賞。

同窓会



私は、小さな製造会社を経営しています。社長という役職柄、様々な機会に参加することも多く、人脈が広がりに仕事に役立てたり、勉強をさせてもらっています。色々な方とお話する中で感じるのは、皆さんご自分の出身大学のネットワークを使い、積極的に人脈を広げているという事。先日、同窓会江戸川支部の新年会に出席させてもらった際、藤崎支部長以下のしっかりした運営で、卒業1年目から先輩まで多くの方が出席し、とても楽しい会でした。出席されている方々の職業、肩書きも様々で、名刺交換をしてお話をさせていました。このような場所に積極的に参加し、色々な方と知り合えば、自分の人生にとってプラスになると感じました。同様に多くの方が様々な会に参加し、ネットワークを広げ各人が活躍すれば、結果的に大学の付加価値も上がると思っています。今、千葉工大が色々な分野で活躍し社会での露出も注目されていますが、我々も大学のネットワークを活かしそれがより素晴らしい人生を送られたいと思います。同窓会副会長 池永 憲明

四季雑感



入試の季節です。サテライト入学試験監督の役を仰せつかり、仙台に行っていました。本学の地方入試は、なんと約50年も続いているそうです。地方入試は受験生の負担を軽減する素晴らしい制度ですが、運営側にとっては不馴れな土地での難しい業務です。地方入試期間の緊張は持続しますが、休憩時間中の卒業生との歓談は楽しいひとときです。卒業生の昔話、例えば、食堂のA定食について学生が食堂職員と議論したとか、〇〇先生の指導が厳しかったとか、学生生活の成功談、あまり胸を張って言えない失敗談など、色々なエピソードを聞くことができます。本学OBではない私にとって、千葉工業大学の学生文化を知る貴重な機会です。卒業生のみならず、ご支援ありがとうございました。そして、4月には新たに卒業生が加わりますのでよろしくお願ひいたします。

編集だより



「おにはこま」と「ふくはうち」とみんで豆をまいて、年の数だけ豆を食べる……。子供のころから、必ず家族で楽しんだ2月3日の「節分」の日。伝統行事で親子のふれあいを大事にしたいと思いつつ、今でも続けている。友達に聞くと、「ゴミが出るのが面倒……、忙しい……、食べ物投げるのはちょっと……」等寂しい意見もあるが、鬼役のダンナに向かって思いっきり豆をぶつけるのは気持ちがいい！「何？鬼嫁とか鬼ババアとかフェイスブックのネタ？」センスありすぎの息子のコメントに腰が抜けるかと思いました。入試広報課 大橋 慶子